

児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

公表： 2023年 2月 1日

事業所名 ハッピーテラスキッズ大分ルーム

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4	0	定員の基準よりも広くスペースを確保している	
	2	職員の配置数は適切である	4	0	基準人員よりも多くのスタッフを配置している	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	4	0	個別レッスンの際は、衝立等で視覚配慮を行っている	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	4	0	支援前の準備時に、美化・衛生管理を徹底している	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	4	0		
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4	0	保護者評価の意見を基に検討し、改善する際は早急に処理していく	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4	0	保護者には評価結果を直接お渡しし、ホームページでも公開している	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	2		外部評価も検討して業務改善していく
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4	0	オンライン研修を多く取入れ、講演会等の参加も行っている	
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	4	0	計画前に保護者と面談を行い、課題やニーズを取り入れ、作成している	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4	0		
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	4	0		
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	4	0		
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	4	0		

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4	0	個々の特性に応じて毎回、工夫している	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	4	0		
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4	0		
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4	0	支援記録を入力する際に職員間で情報共有を行い、振り返りを行っている	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4	0		
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	4	0		
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4	0		
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	4	0	会報等を定期的に配布し、情報共有を行っている	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	—	—		
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	—	—		
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4	0		
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	3	1	保護者を通じて支援内容の情報共有が必要な際に行っている	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	0	定期的に情報共有を行い、専門機関の講演会に参加している	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	0	4		保護者のニーズに合わせて対応していく
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	0	4		地域交流参加については、検討していく
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解を持っている	4	0	毎回の通所時に保護者との面談時間を確保し、課題等の共有をしている	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	0	4		相談等は随時対応しているが、必要に応じてペアレント支援を検討していく

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	32	4	0		
	33	4	0		
	34	4	0	通所毎に保護者との面談時間を設けて支援している	
	35	0	4		小集団やイベントの場で交流は多く設けている。保護者会の開催ニーズによって検討していく
	36	4	0	体制整備を行い、保護者説明や事業所内掲示を行っている。迅速に対応できるよう職員にも連絡体制を周知している	
	37	4	0	活動写真や活動制作した写真等を記載した新聞を発行して、保護者に伝達している	
	38	4	0		
	39	4	0		
非常時等の対応	40	2	2	主催するイベントで地域児童を招待し、事業運営を行った	
	41	4	0		
	42	4	0		
	43	4	0	アセスメント時に状況確認して定期的確認も行っている	
	44	3	1	保護者より、アセスメント時に伺っている	食事提供はしていない
	45	4	0	小さい事例も共有している	他事業所の事例も共有していく
	46	4	0	運営本部の研修にも参加して、職員間で周知している	
	47	4	0		

○この「児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）」は事業所全体で行った自己評価です。